

平成19年度 ふれあい館・桜本こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人青丘社
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	ふれあい館・桜本こども文化センターの管理運営に関すること 桜本小学校・東桜本小学校・大島小学校・東大島小学校わくわくプラザの管理運営に関すること ふれあい館高齢者生活相談事業に関すること ふれあい館高齢者交流事業に関すること

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	18年度2名の退職者を補う形で、4月から、若いブラジル国籍の日系人と、国際交流機関で長く勤務してきたベテランスタッフの2名の雇用を得て、新しい感覚での活動のリフレッシュがはかられた。また、子育て支援事業の強化に伴い、保育経験のある非常勤スタッフの短時間雇用を行った。産休のスタッフ2名を非常勤スタッフで対応した。研修については、すべてのスタッフが、障害のあるこどもの出会いとふれあいができるように実地研修を実施した。	特色を生かし、国際色のある職員を雇用していた。また、子育て支援の強化を目標とし、保育経験のある非常勤職員を採用しスタッフの充実を図っていたことは評価できる。また、研修について、障害のあるこどものため全ての職員が実地研修を実施していた。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	各現場に投書箱を設置すると共に、メールなどの広報に勤め、利用者のご意見、ご希望が出しやすい取り組みを行った。子育て、障害者、外国人、高齢者、生活などの各分野の相談にそれぞれ担当を置き、必要により、当事者の小さな集まりを開いて、課題や実態を話し合い、ふれあい館としての事業のあり方についても、みんなで話し合うよう設定した。こどもや保護者のこども事業への参画については、保護者会やこども会議の開催という形にとらわれず、実際の参画についてのより有効な手立てについて、運営会議で話し合った。	利用者意見の集約のため、投書箱を設置したことや、各分野ごとに担当を配置したり、課題や実態を話し合うための会合をもち、積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	行事運営に、地元の若い高校生のかかわる場面を作った。また、大学と連携し、学習支援に多くのボランティアの関わりを得た。ふれあい館の特性を生かし、世代間交流を積極的に位置づけた。障害のあるこどもの育ちの場の支援として、わくわくプラザを卒会した障害のあるこどもたちのタイムケア事業への利用相談を進めた。街づくり交流行事に積極的に参画し、町内の各リーダーとの連携を深め、地域施設としての役割を位置づけた。	障害児への対応については、障害児タイムケアモデル事業の事業者としての経験を生かし、積極的な支援を行っていた。また大学との連携や地域のボランティアを有効活用して地域連携を深めていたことは評価できる。

事業の実施に関する こと	子育て支援では、保育経験のある非常勤スタッフの関わりを得て、子育て中の親子の孤立した生活に切り込む活動を強化した。こども事業では、日本語を母語としないこどもたちの学習指導を、ボランティア学生のかかわりの中で取り組み、進路指導を各学校と連携し、また総合教育センターと連携し、情報発信して課題への取り組みを訴えた。高齢者事業では、高齢者自身の生活体験の語りと教材化について取り組み、こどもたちに語っていただく活動の育成援助につとめ、一定の成果を得た。桜川公園愛護会や街づくり協議会と連携し、やきいも会や、祭りを通じた世代間交流の機会をつくり、こどもたちに残せる故郷作りに町の役員と連携して取り組んだ。	ボランティアを活用した学習指導を行っていたことや、各関係部署等と協力した進路指導等、事業者の特色を生かし、日本語を母国語としないこどもたちを積極的に援助していたことは評価できる。また、ふれあい館としての特色を生かし、こども文化センター等と連携した、世代間交流を進め、地域の協力を得ながら行事のより一層の充実に努めていた。
個人情報 の取扱に 関する こと	職場内の会議で個人情報の管理について点検した。個人から得る情報の廃棄、管理、利用について討議し確認した。年度替りの個人情報の適切な処理を各現場すべて確認し、館で保管するものと廃棄するものとを整理した。情報のもち歩きを厳しく禁止した。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関する こと	施設整備安全点検委員会を隔月に実施し、各わくわくプラザ及びふれあい館・こ文の施設を各現場スタッフが点検しあう会議を継続した。緊急情報の伝達の速やかな体制を日常化した。東大島小学校わくわくプラザの事故を教訓化するため、11月に設備点検会議をリーダーで行った。	毎日の清掃や点検により施設の安全性は概ね良好の保たれている。特に設備点検会議を行うなど安全性の確保に努めていた。こども文化センターの行事やわくわくプラザの昼食、おやつ等飲食物の提供も安全性は確保されていた。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	<p>延べ利用者数 49,175人 延べ団体利用数 8,495団体 (主な行事等) 手作りおやつ クリスマスおたのしみ会</p> <p>(特色のある行事) ～と出会おう (ブラジル・フィリピン・韓国・中国)</p>	地域の状況に合わせた特色ある行事や国際色のある個性的な行事を実施している。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	<p>1 桜本小学校わくわくプラザ 登録者数 72人 延べ利用者数 6,154人 (主な行事等) カラオケ お菓子屋さん (こども文化センター・わくわくプラザ合同行事) (特色のある行事) スンカ大会</p>	行事については順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

	<p>2 東桜本小学校わくわくプラザ 登録者数 155人 延べ利用者数 9,804人 (主な行事等) けん玉 トック作り (韓国正月料理)</p> <p>(特色のある行事) 外国を知ろう</p>	
	<p>3 大島小学校わくわくプラザ 登録者数 227人 延べ利用者数 14,554人 (主な行事等) 一輪車クラブ ミニリース作り</p> <p>(特色のある行事) 平和を考える映画会</p>	
	<p>4 東大島小学校わくわくプラザ 登録者数 200人 延べ利用者数 14,430人 (主な行事等) やきゅう 遠足</p> <p>(特色のある行事) 人形劇 (こども文化センター合同行事)</p>	
③高齢者生相談事業	介護サービスや行政サービスの手続き、移送ボランティアや生活全般に関する相談等実施した。	所管課の指示に従い、適切に事業を実施している。
④高齢者交流事業	在日高齢者交流クラブ「トラジの会」の会食、識字学級、チャンゴサークル、フラダンスサークルや大正琴練習会等実施した。	所管課の指示に従い、適切に事業を実施している。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																				
(3) 収支状況																						
① 収支状況	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">(単位：円)</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">収入</td> <td style="width: 50%;">指定管理料</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">138,375,486</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">支出</td> <td>人件費</td> <td style="text-align: right;">108,074,510</td> </tr> <tr> <td>管理費</td> <td style="text-align: right;">11,447,752</td> </tr> <tr> <td>事務経費</td> <td style="text-align: right;">6,646,838</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td style="text-align: right;">496,384</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">126,665,484</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td></td> <td style="text-align: right;">11,710,002</td> </tr> </table>	(単位：円)			収入	指定管理料	138,375,486	支出	人件費	108,074,510	管理費	11,447,752	事務経費	6,646,838	その他経費	496,384	合計	126,665,484	差引		11,710,002	指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後も事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。
(単位：円)																						
収入	指定管理料	138,375,486																				
支出	人件費	108,074,510																				
	管理費	11,447,752																				
	事務経費	6,646,838																				
	その他経費	496,384																				
	合計	126,665,484																				
差引		11,710,002																				

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、施設の特徴を良く理解し管理運営に当たっていた。特に国際色のある行事を実施していたことや、保育園を管理している経験を生かした子育て支援などに力を入れていたことは評価できる。また、多くのボランティアの参画を得て事業を実施していた。ふれあい館業務についても、高齢者との交流や相談の業務を積極的に実施し事業の充実に努めていた。行事についても、ふれあい館とこども文化センターと連携してお互いの特徴を生かした、世代間交流や地域の方々との交流を進めていた。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き経験を生かし、地域に根ざした管理運営を実施すること。また事業の実施に当たっては、地域の状況に合わせ特色ある行事の実施等を行い、目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。経費の支出に当たっても引き続き計画的な執行を行い事業の充実に努めること。